

Corporate Profile / Stock Information

会社概要/株式の状況 (2019年6月30日現在)

会社概要

商号 日置電機株式会社
英文商号 HIOKI E. E. CORPORATION
創業 1935年(昭和10年)6月
設立 1952年(昭和27年)1月
商標 **HIOKI**
資本金 32億9,946万円
社員数 933名(2019年6月30日現在、HIOKIグループ全体)
事業内容 電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場 長野県上田市小泉81
グループ会社 日置フォレストプラザ(株)
HIOKI USA CORPORATION
日置(上海)商貿有限公司
HIOKI SINGAPORE PTE. LTD.
HIOKI KOREA CO., LTD.
HIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITED
HIOKI EUROPE GmbH
台湾日置電機股份有限公司
PT. HIOKI ELECTRIC INSTRUMENT

役員

取締役

代表取締役社長 細谷和俊
取締役 岡澤尊宏
取締役 葉山芳計
取締役 水野厚久
取締役 久保田訓久
社外取締役 中谷朔三
社外取締役 田中茂

監査役

常勤監査役 竹内繁弘
常勤監査役 高木正樹
社外監査役 小川直樹
社外監査役 弓場法

株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	8,308名

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年2月
期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日(中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法 日本経済新聞
なお、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ
(<https://www.hioki.co.jp/jp/ir/>)に掲載しております
ので、ご参照ください。
上場市場 東京証券取引所市場第一部(証券コード 6866)

株主の皆様へ

第68期 中間報告書

2019年1月1日※2019年6月30日

HIOKI

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、

アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<https://www.e-kabunushi.com/>
アクセスコード **6866**

いいかぶ

検索



空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも アクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)

HIOKI
日置電機株式会社

本社/〒386-1192 長野県上田市小泉81
TEL 0268-28-0555 FAX 0268-28-0559

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



日置電機株式会社

証券コード: 6866

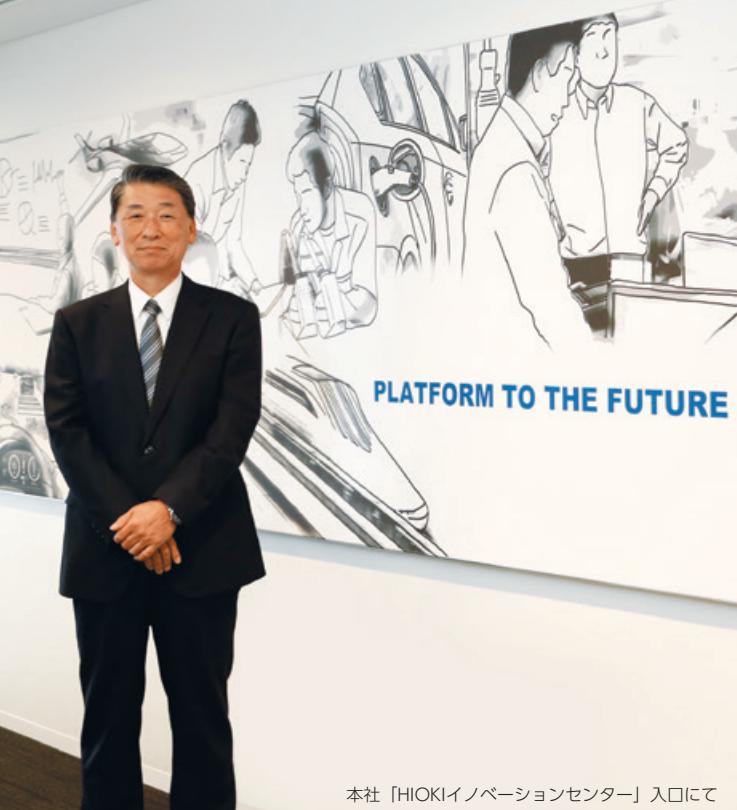
裏表紙のアンケートにご協力ください

目次

株主の皆様へ	P1
市場&製品紹介	P3
トピックス	P4
連結財務情報	P5
シリーズ働き方改革	P6
会社概要/株式の状況	裏表紙

To Our Shareholders

株主の皆様へ



本社「HIOKIイノベーションセンター」入口にて

成長市場に向けて 顧客価値を高める オンリーワン製品の開発・販売に 注力いたします。

2019年8月
代表取締役社長
細谷和俊
Kazutoshi Hosoya

1. 決算概要

成長市場への新製品投入で需要の喚起を図る

当中間期は、米中貿易摩擦の激化による世界経済への影響が本格化し、日本経済はもとよりグローバルでの景気の悪化を招き、世界の経済活動において減速感が強まりました。

こうした厳しい外部環境の中、当社の重点市場である自動車業界では、自動車の電動化や電子化にともなう研究開発や安全面での品質確保に向けた投資は堅調に進み、当社の大電流に対応した電流センサー、バッテリー用途の測定器および潜在不良も検出する高密度プリント配線板検査装置などが売上に寄与しました。また、東京オリンピックなどインフラの整備に向けた投資は継続しており、はさみやすさを追求した新形状のクランプテスターなど、オンリーワンの製品が売上に寄与しました。しかし、先行き不透明感が一層強まる中、当社の重点市場である電子部品分野における生産設備投資が減速したため、電子部品デバイス関連の計測器の売上が低迷し、計画を下回る結果となりました。

開発面では、電気自動車の開発用に2000Aの大電流を高精度に測定する電流センサー、リチウムイオン電池の品質と開発効率に寄与する業界初の電極シート用抵抗測定システムなど、成長市場に向けオンリーワンの製品を継続的に投入してきました。また、JECA FAIR 2019 第58回製品コンクールでは当社のクランプテスターが奨励賞を受賞し、作業者の利便性と安全性を高めた商品として高く評価していただきました。

販売面では、これまでインド市場で販売支援・サービス事業を展開していた子会社が、4月に販売子会社となり当社製品の販売活動を開始しました。また、海外重点市場における代理店の複数化を積極的に進めており、成果も出てまいりました。今後も海外販売網の構築に注力し、顧客の拡大を進めてまいります。

2. 通期業績予想と取り組み

新製品の拡販と海外販売網の構築を推進

下期は、引き続き厳しい経済環境の中、予断を許さない状況が続くものと予想します。

当社が重点市場とする自動車、電子部品、環境・新エネルギー、インフラ分野の中にも、こうした状況下ではユーザーの生産設備計画に大きく影響される分野がある一方で、研究開発や品質面、安全面の向上に向けた測定や、生産、メンテナンスにおける効率向上、省人化につながる測定需要は年々増加しております。こうした需要に対応し、リリースした多数の新製品の拡販を推進するとともに、海外売上高の伸長に向け企業認知度を高めるべく、販売網の構築に一層注力し、通期修正計画の達成を目指します。

3. 配当・還元について

1株当たりの年間配当予想は90円

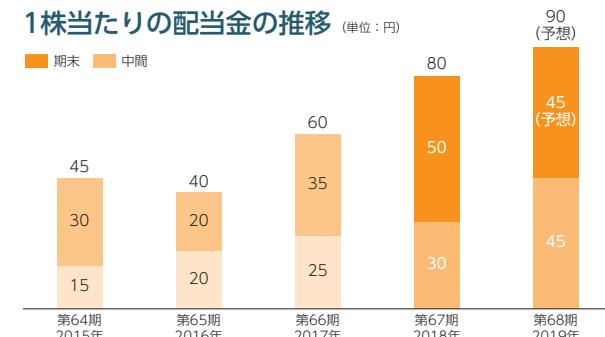
当社は、1株当たり年間20円の配当を安定的利益還元のベースとした上で、連結配当性向40%を目途として、業績向上による一層の利益還元を配当方針としております。当期は、7月に連結業績予想を修正し、前回予想より利益が減少する見込みとなりましたが、連結配当性向および内部

留保の蓄積などを総合的に勘案し、当初のとおり年間配当予想を1株当たり90円に据え置きとさせていただきます。

足元の状況、見通しともに厳しい環境ではありますが、株主の皆様のご期待に沿えるよう、業績の回復に向け全社一丸となって邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月期 連結業績予想 (2019年7月修正)

売上高	23,800 百万円	前期比	2.2%増
営業利益	3,370 百万円	前期比	1.7%増
経常利益	3,450 百万円	前期比	1.4%増
親会社株主に帰属する当期純利益	2,660 百万円	前期比	4.1%減



決算ハイライト

本中間報告書に記載の金額は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。予想値は2019年7月に修正しております。

売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



Close-up

市場 & 製品紹介

拡大する電動車 (xEV) 市場

資源制約や環境問題への対応を背景に、世界各国で自動車の電動化が加速しています。乗用車のほか、バスやトラックなど大型自動車の電動化も進んでおり、今後も市場は大幅に拡大するとみられています。

xEVのコア技術（電池、モーター、インバーター）は共通であり、従来よりも高電圧、大電流、高精度、広帯域といったワンラ

ック上の測定が求められています。そのため、測定器も日々進化していかねばなりません。

当社は、これからも世界最高レベルの測定器で新しい測定価値を提供し、電動化の研究開発・生産に貢献していきます。

※xEVとは、電気自動車 (BEV)、プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)、ハイブリッド自動車 (HEV)、燃料電池自動車 (FCEV) といった自動車の総称。

xEVの研究開発・生産に使用される製品

インバーター・モータ評価
パワーアナライザ



制御システムの開発
メモリハイコーダ



バッテリー評価
バッテリーテスタ



ワイヤレス給電の送電効率評価
ワイヤレス給電評価システム



電源品質確認
電源品質アナライザ



高精度測定
電流センサ



急速充電器



モーター

インバーター

バッテリー

KEY PRODUCT

大型電動車に搭載されるインバーターの評価に最適
AC/DC カレントセンサCT6877

2019年4月、貫通型電流センサーでは当社初となるAC/DC 2000Aを高精度で測定するAC/DC カレントセンサCT6877を発売しました。

大電流測定に加え、広い周波数帯域や高いノイズ耐性により、大電流化、高速化が進む大型電動車に搭載されるインバーターやバッテリーの評価が可能になりました。



大電流測定の様子

Topics

トピックス



高速サンプリング×高分解能で応答波形の微小な変化を検出 インパルス巻線試験器ST4030を発売

2月に当社初となるモーターの巻線の良否を検査する「インパルス巻線試験器ST4030」を発売しました。ST4030は応答波形を数値化するという新たな方法で、レイヤーショート（絶縁不良）の検出を可能にしました。

近年の自動車の電動化により、車載部品の高品質化が進み、モーター巻線に対する信頼性要求が高まることから、抵抗計・耐圧試験器などと合わせ、モーター巻線製造ラインに必要な検査用試験器のラインアップの充実を図りました。



インパルス巻線試験器ST4030 (右)



インドの連結子会社に販売機能を付加 インド市場深耕を強化

4月にインド市場の深耕を進めるため、連結子会社であるHIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITEDを販売子会社として事業を進めていくこととしました。これまでは、修理・校正・サービスを中心に代理店サポートなどで実績を積み重ねてきました。販売子会社としたことで、より広範囲な販売活動が可能となりました。今後も発展が期待されるインド市場の顧客拡大を目指します。



販売子会社が入居するビル



「しあわせ信州移動知事室～県政ランチミーティング～」で HIOKIの「健康経営戦略」を紹介

3月に長野県が主催する「しあわせ信州移動知事室～県政ランチミーティング～」が本社の社員レストランで開催されました。「健康経営戦略」をテーマに阿部長野県知事と当社社長、社員が県の推奨するメニューのランチをとりながら、健康づくりへの取り組み、成果などの紹介をもとに意見交換を行いました。

今後も地域社会・行政と連携を深め、社員の健康づくりを継続的に支援していきます。



阿部長野県知事 (中央) とランチミーティング

Consolidated Financial Statements

連結財務情報

四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産	15,140	15,188
固定資産	12,225	12,300
有形固定資産	10,650	10,829
無形固定資産	562	489
投資その他の資産	1,012	981
資産合計	27,365	27,488
負債の部		
流動負債	2,299	1,902
固定負債	850	864
負債合計	3,149	2,766
純資産の部		
株主資本	24,078	24,643
その他の包括利益累計額	138	78
純資産合計	24,216	24,722
負債純資産合計	27,365	27,488

四半期連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年1月1日から 2018年6月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)
売上高	11,502	11,730
売上原価	6,364	6,472
売上総利益	5,137	5,258
販売費及び一般管理費	3,404	3,605
営業利益	1,733	1,652
経常利益	1,804	1,665
税金等調整前四半期純利益	1,859	1,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,377	1,247

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018年1月1日から 2018年6月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,624	1,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	172	△830
財務活動によるキャッシュ・フロー	△475	△680
現金及び現金同等物に係る換算差額	△72	△74
現金及び現金同等物の増減額	1,248	33
現金及び現金同等物の期首残高	5,768	8,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,017	8,538

シリーズ 働き方改革

シニア世代も生き生きと働く 一段階的定年引き上げを前倒しし、 2017年から65歳定年制度を導入



若い社員に製造技術を継承するシニアスタッフ

当社は、2017年4月に65歳定年制度を導入、あわせて70歳までの継続雇用制度も導入しました。

当初、段階的に定年を引き上げ、2025年に65歳とする予定でしたが、将来の人手不足や社員の一層の戦力化を図るため、65歳定年制度の導入を前倒ししました。

さらに70歳まで働き続ける社員は、社内では「シニアスタッフ」と呼ばれ、工場の効率化につながるアイデアを豊富に持つ生産技術者や製品開発ノウハウが秀でている技術者など、多くの社員が活躍しています。

また、2018年3月に全社横断プロジェクト「日本一働きたい会社プロジェクト」を発足し、様々な課題ごとにチームが結成されました。そのうちの1つに「キャリア形成(生涯現役)」を考えるチームがあり、社員同士で活発な議論が交わされました。チームからは多様な働き方や社員の相互理解のための18の提案が会社に提出され、提案の一部は制度化に向け検討が進められています。

当社は、「人間性の尊重」の企業理念のもと、これからも社員が将来に展望を抱きながら安心して働くことができる環境づくりを推進していきます。

当社ホームページのご案内

最新の製品情報、IR情報、CSR・環境活動への取り組みなどをご覧いただけます。スマートフォンにも対応し、より便利になりました。



HIOKI 検索

Facebook (SNS) 「Hioki Japan」開設のお知らせ

Facebook ページを新しく開設しました。ホームページに載せきれない情報やトピックスなどをお届けします。



Hioki Japan facebook 検索

株主総会開催

2019年2月27日(水)に日置電機(株)本社にて第67期定時株主総会を開催しました。多くの株主の皆様にご出席いただき、ありがとうございます。今回の株主総会開催にあたり、株主様からのご要望を反映し、当社最寄駅から会場までシャトルバスを運行しました。今後も、株主の皆様のお声をお聴きし、よりよい株主総会の開催を心がけていきます。



HIOKI祭りのご案内

地域との交流を図るため、2000年から本社にて「HIOKI祭り」を開催しています。社員一同、工夫を凝らし皆様のお越しをお待ちしています。



日時：2019年10月19日(土) 14:15~17:00
場所：日置電機(株)本社(長野県上田市小泉81)
※詳しい内容については、当社ホームページをご覧ください。